

KGIの設定について

次期「基本計画」のKGIの位置づけ

10年間の方向性

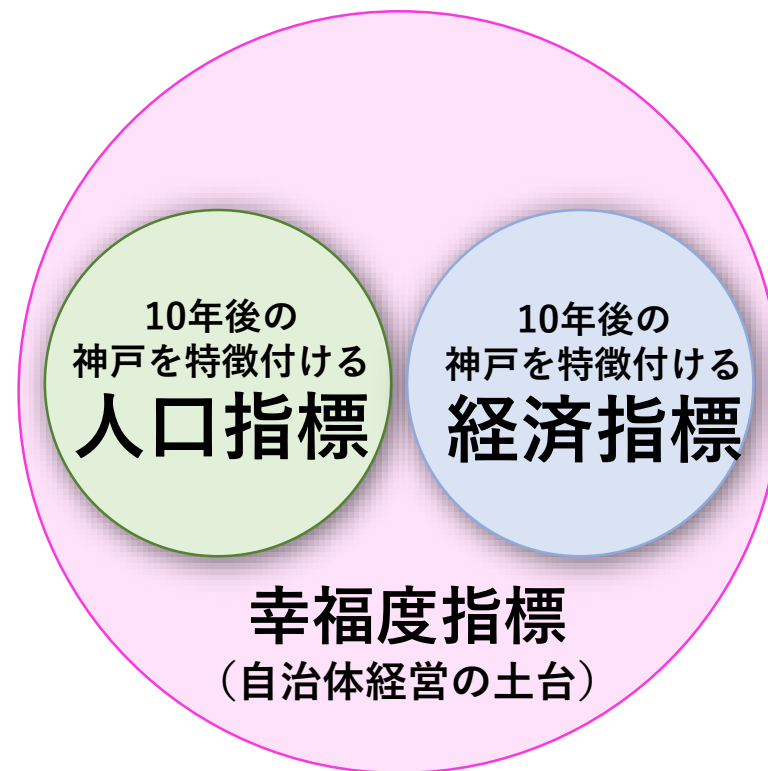
- ①世界と繋がる2つの港「新たな時代の国際都市」へ
- ②個性豊かで多様な地域の融合
「日常と非日常が交わり続ける都市」へ
- ③ともに乗り越え育んだ絆
「いつまでも幸せを感じ、分かち合える都市」へ

10年後の都市像

自然も都会も、歴史も未来も、仕事も余暇も、
安らぎも挑戦も・・・

～すべての望みに手が届くまち・神戸～

都市像を現すKGI（数値目標）



K G I の全体像

1 経済指標

- ・市内総生産の成長率
- ・地域経済循環率

2 人口指標

- ・生活関連サービス提供市街地（神戸版DID地区）比率
- ・社会動態（22～39歳）

3 幸福度指標

- ・Well-Being指標

①経済指標

- ①神戸市の経済規模拡大⇒個人所得の向上
- ②他都市に依存しない自立した神戸経済圏の維持

目標値(案)： 実質GDPの成長率を1%以上(年換算)

空港国際化、三宮再整備等の契機を活かし、人口減少時代においても新たなテクノロジーを先進的、積極的に活用しながら、我が国全体の経済成長目標を先導する。

日本は生産年齢人口の減少と少子高齢化の進行より、将来的に国内需要の減少や労働力不足、経済規模の縮小が懸念されています。国立社会保障・人口問題研究所の推計では、総人口が2050年に1億人を下回り、さらに2070年には8700万人まで減少すると予測されており、これがGDP総額の低下につながる要因とされています。

検索エンジン（Google）による公開情報のAI要約
（検索ワード日本、GDP、推計、人口減少）

	GDP年平均成長率（実質） 2011～2018（コロナ前）
日本	1.2%※
神戸市	1.2%
大阪市	0.8%
京都市	0.8%
横浜市	0.5%
福岡市	1.2%

※2025速報値：0.7%（内閣府）
～2030：0.6%（IMF推計）

2040年度における名目GDP1,000兆円の実現に向けて

- 物価安定目標（2%）の持続的・安定的な実現と、人口減少下においても実質1%を安定的に上回る実質成長が実現すれば、2040年頃に名目1,000兆円程度の経済が視野に入る。
- 長期にわたり実質1%を上回る実質成長を実現する前提条件として、労働参加率や生産性向上につながる労働市場改革、投資の促進が不可欠であり、あらゆる政策的手段を講ずる必要。

①経済指標

- ①神戸市の経済規模拡大⇒個人所得の向上
- ②他都市に依存しない自立した神戸経済圏の維持

目標値(案)：地域経済循環率を100%以上

地域	人口（人）	総生産額 （億円）	一人当たり 総生産額（万円）	地域経済 循環率
東京都	13,843,525	1,144,195	826.5	152.8%
川崎市	1,521,562	61,701	405.5	85.1%
横浜市	3,759,939	146,676	390.1	80.7%
さいたま市	1,324,589	48,234	364.1	81.8%
名古屋市	2,300,949	139,348	605.6	118.5%
大阪市	2,739,963	201,577	735.7	142.5%
神戸市	1,526,835	70,587	462.3	100.9%
京都市	1,400,720	66,476	474.6	101.4%
西宮市	484,204	14,154	292.3	73.1%
福岡市	1,562,767	78,277	500.9	105.8%

$$\text{地域経済循環率} = \frac{\text{市内で産みだされた富（市内総生産）}}{\text{市内に集まった全所得（市民総所得）}}$$

循環率100%以上：近隣市にも所得を配分等（圏域の中心都市）
循環率100%以下：市外で働いて所得を得ている等（ベッドタウン）

出典：（人口）総務省「2021年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」、
（総生産額）2021年各都県市「都民・県民・市民経済計算」、
（地域経済循環率）RESAS「地域経済循環図2018年」（神戸市のみ市民経済計算（2021年）から算出）
※人口一人当たり総生産額＝総生産額÷住民基本台帳の人口（2021年1月1日時点）

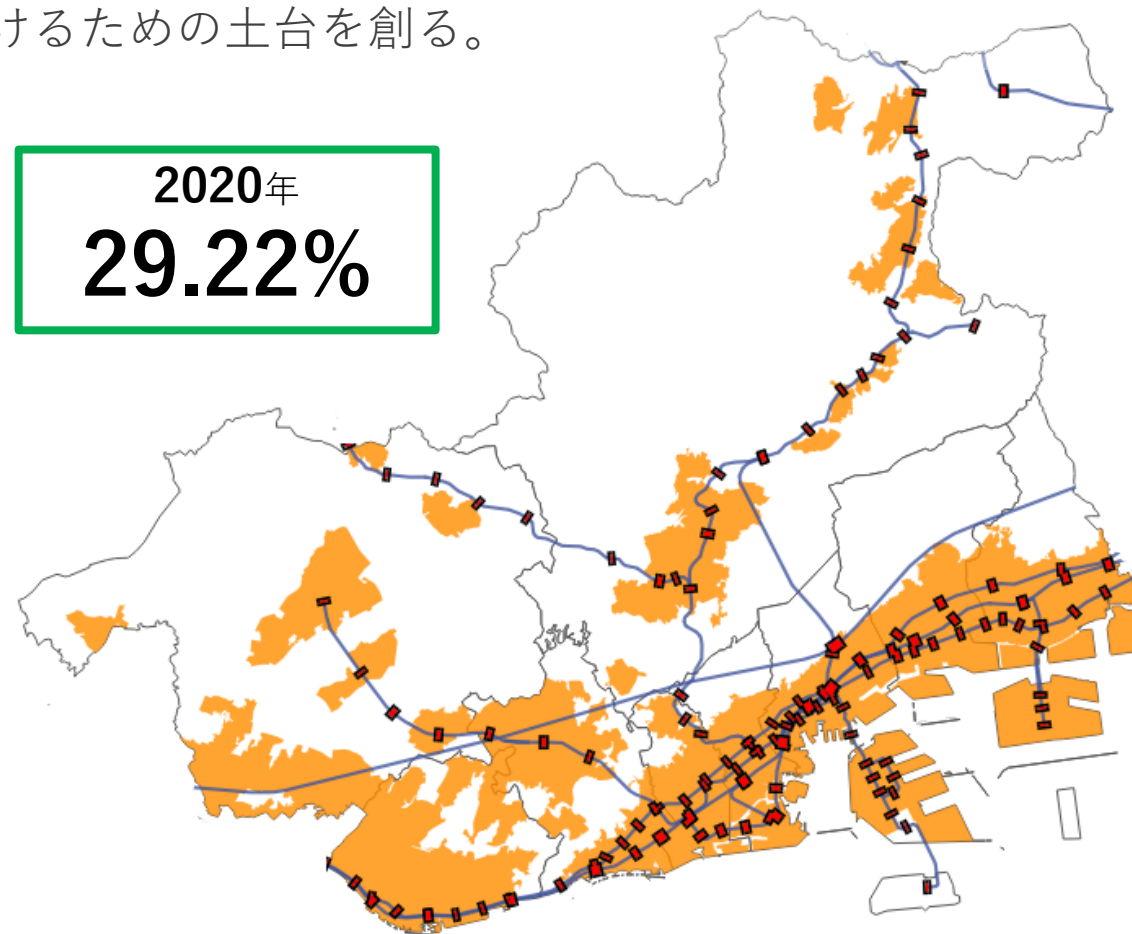
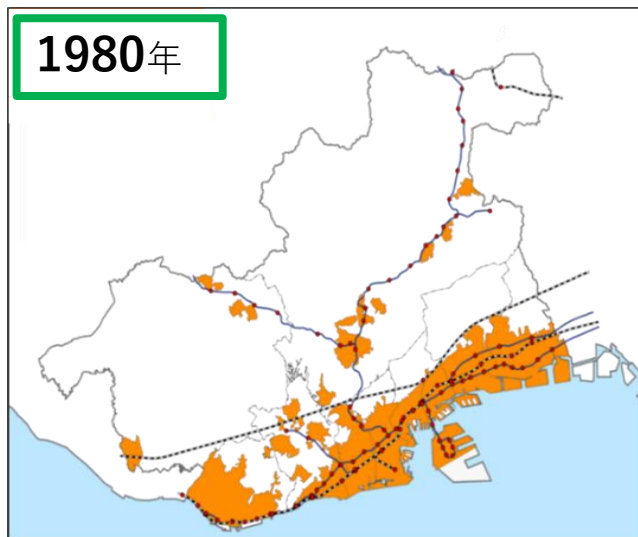
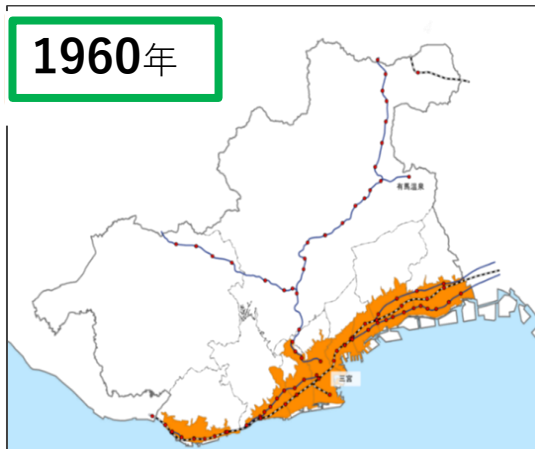
②人口指標

- ①人口減少時代においても、持続可能でバランスのよい人口配置
- ②いつまでも住み続けたいと思えるまち、選ばれる都市

目標値(案)：生活関連サービスを提供する市街地(DID地区※)の比率を維持

※今後神戸市独自版指標の設定を検討

地域が築いてきた既存インフラや特性を最大限に活かし、持続可能な発展を進めることで、理想のライフスタイルが実現できる居住地として選ばれる都市であり続けるための土台を創る。



DID (Densely Inhabited District) 地区

周辺地域に対して様々な生活関連サービスを提供する市街地

(国土交通省、国土審議会より)

市区町村の区域内で人口密度が4,000人/km²以上の基本単位区(国勢調査)が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区

(但し「都市的地域」を表すことから、隣接する学校や店舗、工場等敷地も条件によって含める場合がある)

②人口指標

- ①人口減少時代においても、持続可能でバランスのよい人口配置
- ②いつまでも住み続けたいと思えるまち、選ばれる都市

目標値(案)：社会動態（22～39歳）の転出超過解消

人口減少に伴い都市間の移動が縮小する中であっても、就職や子育て等のライフイベントを契機に転居することが多い22～39歳の世代について社会動態の転出超過を解消し、移住・定住の促進を図る。

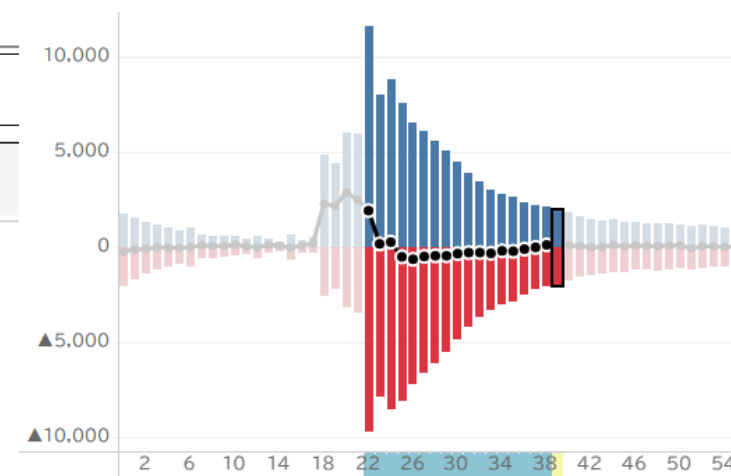
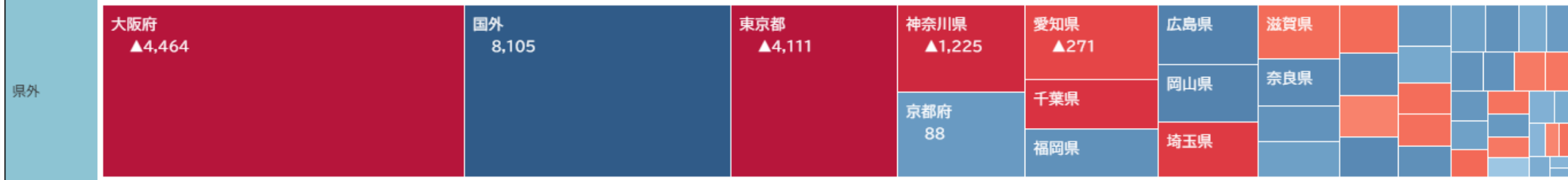
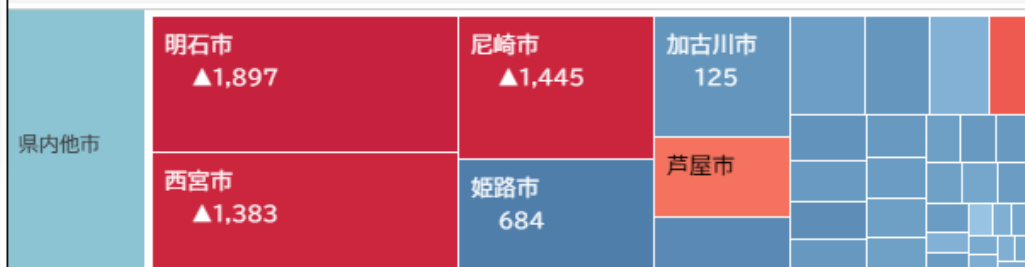
過去3年（2022,2023,2024）の社会移動数合算値

転入数 88,408	転出数 90,400	転入超過数 ▲1,992
---------------	---------------	-----------------

年平均：▲664

相手地域別 転出入数

色：転入超過数(転入－転出) 大きさ：移動者数(転入＋転出)



③幸福度指標

目標値(案)： Well-Being指標

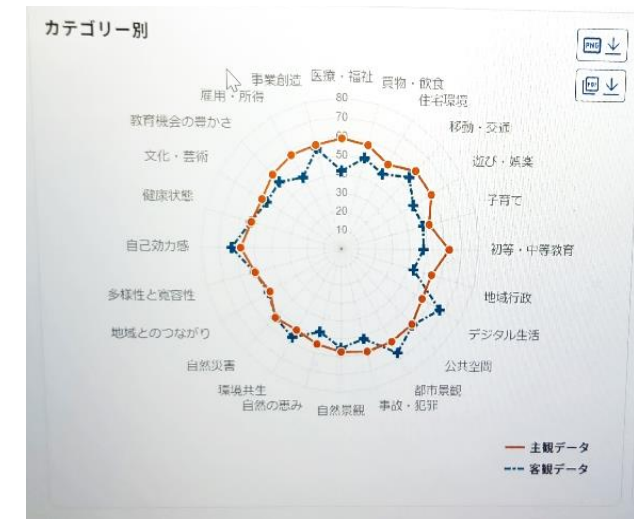
幸福度：6.5以上、生活満足度：7.0以上（2025年神戸市実績）

●Well-Being指標の概要

- ・国の「デジタル田園都市国家構想」のもと、デジタル庁が活用を促進⇒国が指標を自動更新
- ・総合指標（幸福度、生活満足度）を最上位に置き、その要因を主観・客観両指標から分析
- ・主観・客観指標は自治体の政策分野を網羅し、分野別に偏差値で表示（実施計画のKPIとして活用可能）

ウェルビーイング 総合指標

- ・ どの程度幸せか（幸福度）
 - ・ 住んでいる地域の暮らしにどの程度満足しているか（生活満足度）
- 等の4項目を0～10点でアンケート回答⇒平均値を指標化



Well-Being指標の活用促進（骨太方針）

【経済財政運営と改革の基本方針2024】（抜粋）

「2. 豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会に向けて

…意欲のある人が年齢・性別にかかわらず、「人への投資」などを通じて、自由に柔軟に活躍できる社会を構築する。さらに、若者が安心して結婚・出産・子育てに取り組めるよう若年世代の所得向上を図るとともに、健康意識の向上を図り、自らのキャリア設計の下で希望に応じて働くことで生涯所得を拡大させ、潜在的な支出ニーズを顕在化させていく。こうした「賃金と物価の好循環」や「成長と分配の好循環」の拡大・定着を通じて、希望あふれるWell-Beingの高い社会の実現を目指す。」

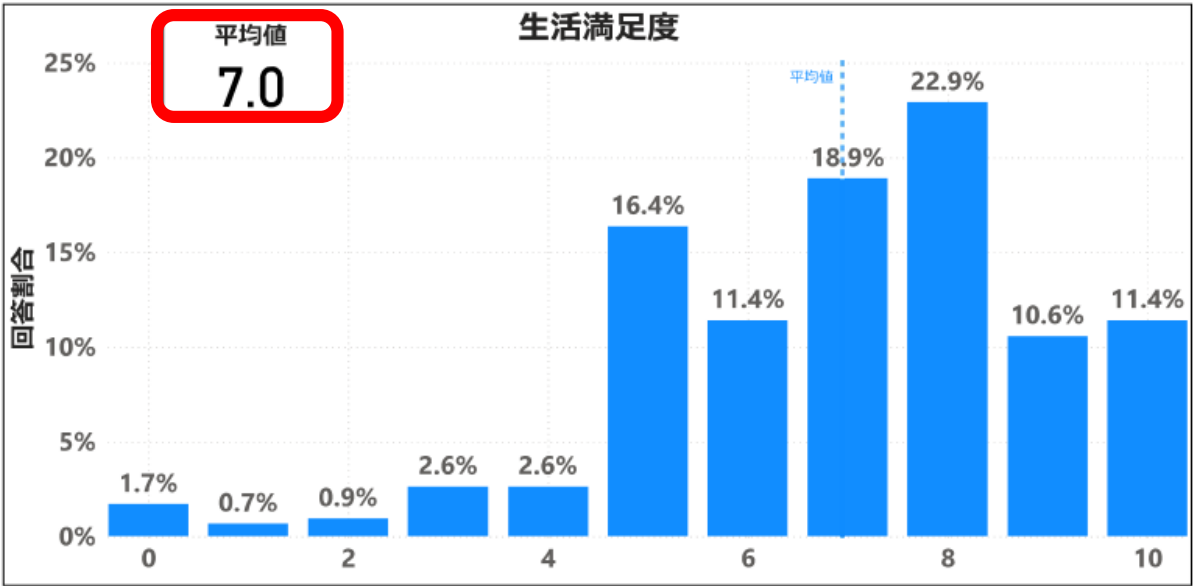
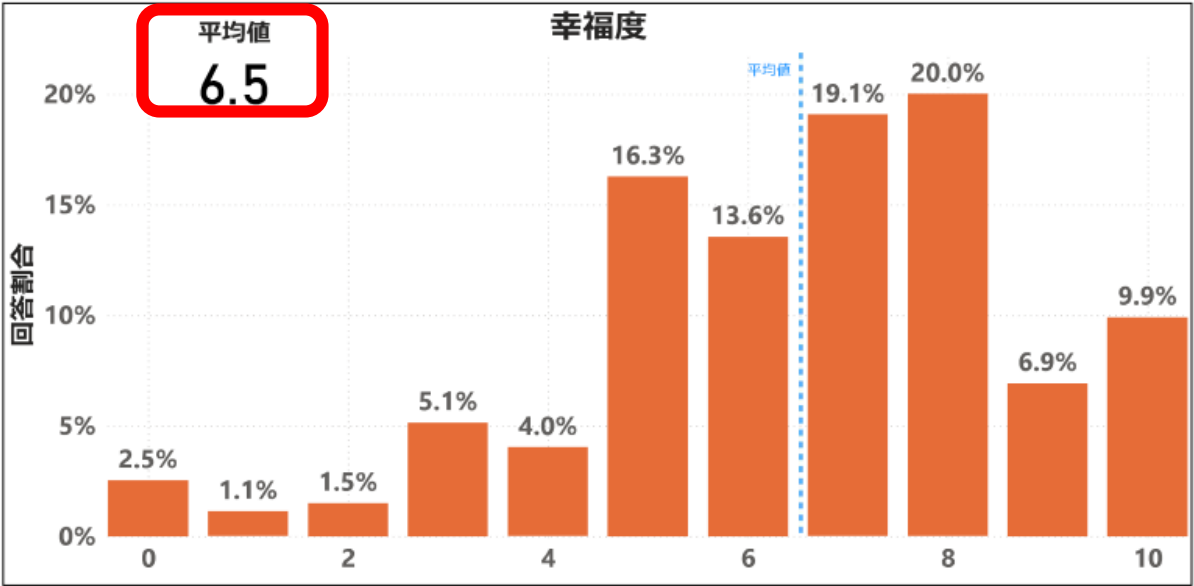
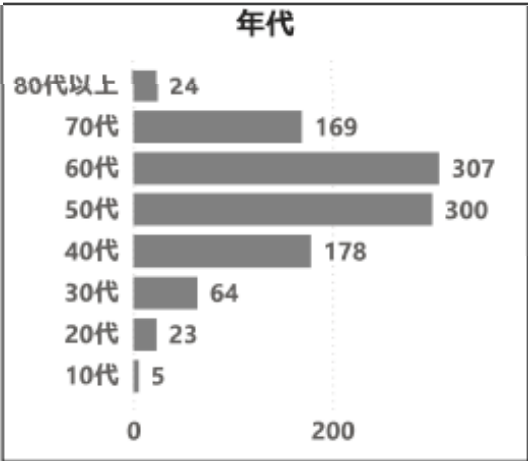
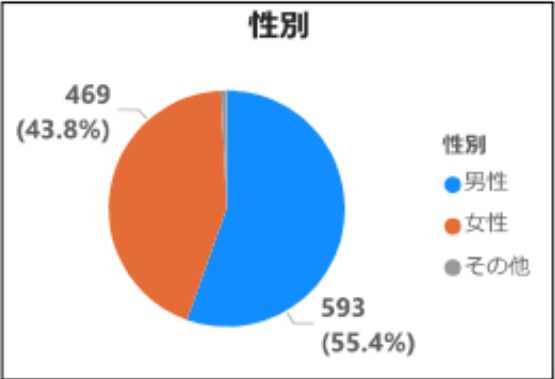
「4. 改革推進のためのEBPM強化

…客観指標と主観指標を併用し経済成長や政策効果を多面的に評価するなど、行政におけるWell-Being 指標の活用を促進するとともに、当該指標と各種政策との関係性を整理する。次世代の社会生活や価値観の変化を反映させた経済指標を検討し、将来的なSNA国際基準への反映や社会実装も見据えた取組を推進する。」

(参考) Well-Being指標【総合指標】

- ①どの程度幸せか（幸福度）
 - ②地域の暮らしにどの程度満足しているか（生活満足度）
- を0～10点でアンケート回答⇒平均値を指標化

(2025年神戸市実績)
n = 1,070



（参考） Well-Being指標【主観指標】

（１）生活環境（16分野）

医療・福祉	暮らしている地域は、医療機関が充実している 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい
買物・飲食	暮らしている地域は、日常の買い物にまったく不便がない 私の暮らしている地域では、飲食を楽しめる場所が充実している
住宅環境	自宅には、心地のいい居場所がある 【逆】自宅の近辺では、騒音に悩まされている 私の暮らしている地域では、適度な費用で住居を確保できる
移動・交通	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる
遊び・娯楽	私の暮らしている地域には、楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある
子育て	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる
初等・中等教育	私の暮らしている地域では、教育環境（小中高校）が整っている 私の暮らしている地域では、通学しやすい場所に学校がある
地域行政	暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である

デジタル生活	私の暮らしている地域では、行政サービスのデジタル化が進んでいる 私の暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすい
公共空間	暮らしている地域の雰囲気は、自分にとって心地よい 私の暮らしている地域には、まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある
都市景観	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある
自然景観	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある
自然の恵み	暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる 暮らしている地域の空気や水は澄んでいてきれいだと感じる
環境共生	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである
自然災害	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている
事故・犯罪	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい 私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である

（参考） Well-Being指標【主観指標】

（２） 地域の人間関係（２分野）

地域とのつながり	私は、同じ町内（集落）に住む人たちを信頼している
	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである
	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる
	私は、町内（集落）の人が困っていたら手助けをする
	私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている
多様性と寛容性	この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある
	私は、見知らぬ他者であっても信頼する
	私は、町内（集落）の人が自分をどう思っているかが気になる
	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある
	私の暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある

（３） 自分らしい生き方（６分野）

自己効力感	自分のことを好ましく感じる
健康状態	私は、精神的に健康な状態である
	私は、身体的に健康な状態である
文化・芸術	暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい
	将来生まれてくる世代のために、良い環境や文化を残したい
教育機会の豊かさ	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある
雇用・所得	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい
	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある
事業創造	暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある

(参考) Well-Being指標【客観指標】

生活環境 (16)

医療・福祉

- 医療施設徒歩圏人口カバー率
- 医療施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり国保医療費 (-)
- 人口あたり後期高齢者医療費 (-)
- 特定健康診断受診率
- 福祉施設徒歩圏人口カバー率
- 福祉施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 人口あたり児童福祉施設数
- 人口あたり障害者施設支援数
- 人口あたり認知症サポーター・メイト・サポーター数

買物・飲食

- 商業施設徒歩圏人口カバー率
- 商業施設徒歩圏平均人口密度 (-)
- 可住地面積あたりの飲食店数
- 人口あたり飲食店数

住宅環境

- 住宅あたり延べ面積
- 平均価格(住宅地) (-)
- 専用住宅1m2あたり家賃 (-)
- 一戸建の持ち家の割合

移動・交通

- 駅またはバス停留所徒歩圏人口カバー率
- 駅およびバス停徒歩圏人口密度 (-)
- 人口あたり小型車走行キロ (-)
- 通勤通学に自家用車・オートバイ・タクシーを用いない割合
- 職場までの平均通勤時間 (-)

遊び・娯楽

- 人口あたり娯楽業(映画館、劇場、スポーツ施設等)の事業所数

子育て

- 保育所まで1km未満の住宅割合
- 可住地面積あたり幼稚園数
- 施設あたり幼稚園児数 (-)
- 人口あたり待機児童数 (-)
- 歳出総額における教育費の構成比
- 合計特殊出生率

初等・中等教育

- 可住地面積あたり小学校数
- 可住地面積あたり中学校数
- 可住地面積あたり高等学校数
- 施設あたり小学生数 (-)
- 施設あたり中学生数 (-)
- 施設あたり高校生数 (-)

地域行政

- 人口あたり体育施設利用者数
- 人口あたり図書館帯出者数
- 人口あたり博物館入館者数
- 地域財政指数

デジタル生活

- 自治体DX指数
- デジタル政策指数
- デジタル生活指数

公共空間

- 公園緑地徒歩圏人口カバー率
- 人口あたり公園の面積
- 歩道設置率
- ウォーカブル指数

都市景観

- 都市景観指数

自然景観

- 自然景観指数

自然の恵み

- 食料生産ポテンシャル
- 水供給ポテンシャル
- 木材供給ポテンシャル
- 炭素吸収量
- 蒸発散量
- 地下水涵養量
- 土壌流出防止量
- 窒素除去量
- リン酸除去量
- NO2吸収量
- SO2吸収量
- 洪水調整量
- 表層崩壊からの安全率
- 緑地へのアクセス度
- 水域へのアクセス度
- オートキャンプ場への立地

環境共生

- NOx平均値 (-)
- PM2.5年平均値 (-)
- ゴミのリサイクル率
- 人口あたり年間CO2排出量 (-)
- 人口あたり再エネ発電量
- 環境政策指数

自然災害

- 外水氾濫危険度
- 高潮危険度
- 土砂災害危険度
- 地震動危険度
- 津波危険度
- ハード対策
- 避難・救助
- 要配慮者支援
- 防災教育
- 防災まちづくり
- 情報・デジタル防災

事故・犯罪

- 人口あたり交通事故件数* (-)
- 人口あたり刑法犯認知件数* (-)
- 空家率 (-)

指数を構成するKPIはP14~15を参照
*各都道府県・市区町村HP等から取得
(-)のあるKPIは高い方が偏差値が低く算出

(参考) Well-Being指標【客観指標】

地域の人間関係 (2)

地域とのつながり

- 人口あたり自殺者数 (-)
- 拡大家族世帯割合
- 既婚者の割合
- 高齢単身世帯の割合 (-)
- 居住期間が20年以上の人口の割合
- 祭り開催数
- 自治会・町内会加入率*
- 人口あたり政治団体等の数
- 人口あたり宗教の事業所数
- 人口あたりNPOの数
- 人口あたり都市再生推進法人・UDCの数
- 関係人口創出活動指数

多様性と寛容性

- 議会における女性議員の割合
- 自治体の管理職職員における女性の割合
- 自治体職員における障害者の割合
- 人口あたり外国人人口
- 多様性政策指数

自分らしい生き方 (6)

自己効力感

- 首長選挙投票率
- 市区町村議会選挙の投票率

健康状態

- 健康寿命 (平均自立期間) (男性)
- 健康寿命 (平均自立期間) (女性)

文化・芸術

- 芸術家・著述家等の割合
- 国宝・重要文化財 (建造物) の数
- 日本遺産の数

教育機会の豊かさ

- 大卒・院卒者の割合
- 可住地面積あたり大学・短期大学の数
- 可住地面積あたり国立・私立中高一貫校数
- 人口あたり生涯学習講座数
- 人口あたり生涯学習講座受講者数
- 人口あたり青少年教育施設利用者数
- 人口あたり女性教育施設利用者数

雇用・所得

- 完全失業率 (-)
- 若年層完全失業率 (-)
- 正規雇用者比率
- 高齢者有業率
- 高卒者進路未定者率 (-)
- 市区町村内で従業している者の割合
- 創業比率
- 納税者あたり課税対象所得

事業創造

- クリエイティブ産業事業所の構成比
- 新規設立法人の割合
- 従業者数あたりコワーキングスペースの数
- 大学発ベンチャー企業数

（参考） Well-Being指標 【客観指標(内訳)】

■ 地域財政指数

- ・ 財政力指数
- ・ 経常収支比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

■ 自治体DX指数

- ・ 自治体DXの推進体制等
 - ・ CIO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ CIO補佐官任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ DXを推進するための全体方針策定の有無
 - ・ DXを推進するための全庁的・横断的な推進体制構築の有無
 - ・ DX推進専任部署設置の有無
 - ・ DXを推進するための外部デジタル人材任用の有無
 - ・ DX・情報化を推進するために行っている職員の育成の取組の有無
- ・ 行政サービスの向上・高度化
 - ・ 申請・届出等手続のオンライン化計画・オンライン利用促進計画策定の有無
 - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するための通則条例制定の有無
 - ・ e-文書条例制定の有無
 - ・ 申請・届出等手続をオンライン化するためのシステム導入の有無
 - ・ コンビニにおける証明書等の交付等の有無

- ・ 市民視点の指標の策定の有無
- ・ 指標に基づいた市民満足度測定の有無
- ・ 各システムの電子決裁機能の有無
- ・ 災害時の被災者情報管理業務システム整備の有無
- ・ 統合型GIS導入の有無
- ・ 情報セキュリティ対策の実施状況
 - ・ CISO任命の有無（及び外部デジタル人材任用の有無）
 - ・ 緊急時対応計画の策定の有無
 - ・ 情報システムに関する業務継続計画策定の有無
- ・ デジタルデバйд対策
 - ・ デジタルデバйд対策実施の有無

■ デジタル政策指数

- ・ 国土交通省Plateauの対象都市
- ・ 地方版IoT推進ラボの有無
- ・ 自治体によるオープンデータの有無
- ・ ローカル5G開発実証事業の採択の有無
- ・ スマートシティ合同審査の結果
- ・ 令和4年度デジ田交付金（type2/3）への採択
- ・ マイナンバーカード普及率
- ・ 国勢調査ネット回答率
- ・ 共創モデル実証プロジェクト
- ・ Digi田甲子園採択自治体
- ・ デジタル田園都市国家構想採択自治体

■ デジタル生活指数

- ・ Code forの団体の有無
- ・ ファブラボの有無
- ・ CoderDojoの有無
- ・ 大学のICT関連学部の有無
- ・ 高等専門学校の有無
- ・ 10万人あたり通信キャリア店舗数

■ ウォーカブル指数

- ・ ウォーカブル推進都市
- ・ （ウォーカブル推進都市のうち）滞在快適性等向上区域を設定している自治体
- ・ 「地方版自転車活用推進計画」の有無

■ 都市景観指数

- ・ 「都市景観大賞」受賞の市区町村
- ・ 景観条例の有無
- ・ 景観重要建造物の有無
- ・ 景観協定の有無

■ 自然景観指数

- ・ 国立・国定公園の有無
- ・ 「美しい日本のむら景観百選一覧」
- ・ 景観重要樹木の有無
- ・ 重要文化的景観

(参考) Well-Being指標【客観指標(内訳)】

■ 環境政策指数

- ・ SDGs未来都市
- ・ 2050年ゼロカーボンシティ
- ・ 気候変動イニシアティブへの参加
- ・ 「地域循環共生圏実践地域」活動団体
- ・ 脱炭素先行地域
- ・ ゼロカーボンパーク

■ 多様性政策指数

- ・ パートナースhip宣誓制度の有無
- ・ 性の多様性に関する条例の有無
- ・ 障害差別解消に関する条例の有無
- ・ 子どもに関する条例の有無
- ・ バリアフリー基本構想の有無
- ・ 男女共同参画条例・ジェンダー平等条例

■ 関係人口創出活動指数

- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの発信
可能者数
- ・ 地域への移住・関係人口創出プロジェクトの関心度